婦人と家庭

親よ娘よ共に醒めよ

あたら少女の就職口も虛榮で塞がれる

眞相はかくの如し!

インフレ景氣現出求人申込み殺到などと騒いではゐるものゝ職を得られずに泣き叫んでゐる少女群が非常に澤山あります、で如何にして就職するかと云ふ事よりも、どうすれば就職出來なかつた子供達を救ひ得るかを考へる方が意味があるやうな有様です、父兄及び子供達の職業選擇に關する注意と、就職戰線と子供の將來に就ての矛盾をどう解決すればいゝ?かを東京市婦人少年職業紹介所長仲井眞一郎氏に承はつてみませう。

『求人』數と求職數との隔たりが最も甚だしいのは給仕、店員、事務員で、最近の統計に依つて調べてみますと

(一)給仕、希望數二三二一求人數二六七就職數一七四
(二)店員希望者、二五九五求人數五一一就職者二五七
(三)事務員希望者、二三一七三求人數三七四就職數二〇八

で小學校卒業者が給仕を高等小學出が『店員』を、女學校卒業者が事務員を志望するのが特筆すべき著しい傾向なのです、これは通勤であること、時間の餘裕があること、綺麗な服裝であられること、最初から給料が割合にいゝこと等の理由が擧げられますが、此の中でも特に問題になると思はれるのは、高等小學卒業者です、尋常小學校卒業の者は未だ先に相當年數があり、又女學校出の者の家庭は相當餘裕があると考へられますが、家庭も裕福でなく、年齒も就職期に最も適當してゐる高等小學校出の者が一番『注意』しなければならぬのですで、は店員以外に職業がないのかと云ふと決してさうではなくタイピスト、エレベーターガール、見習ひ看護婦、裁縫見習等凡て求人數の方が多いことは、求人數が二四一三四であるのに、就職希望者が一八〇九五であるのを見ても明かで、而もこれは他の職業紹介所でも云ひ得る事實なのです併し女生徒の殆んど大部分が百貨店その他の店員を望むのは店內のは、店內の狀況、家庭の事情、自分の立場等を考へるからではなく、自分一個或は外部への見得からばかりで、又職業の種類に對する『知識』が狹いためでもあります、父兄も少女も百貨店、青バス交換手官廳等五、六種しか職業の種類を知つてゐないのが普通ですが、市內だけにも約四千の少女を望む職業があるのです、適所適材を選ぶがために、性能智能、身體等の檢査を施行して店員やバスの車掌等は向かないと力說するにも拘らず、三年間も續けて紹介所を訪れる方がありますがこれなどは他に自分に適した將來有望な職業があることに耳を傾けようともしないいゝ實例で、年齡が最初自分の適した職業に入れなくなつて了ふことなどを忘れてゐる人達です、勿論熱と『興味』は職に就く場合に何よりも必要ですが、先輩或は友達などに志望する店の內部を訊ねて自分に適するかどうかを考へ本に就て職業の知識を豐富にし、又父兄は初任給の多寡のみに拘泥しないやうにするのが大切ですし、さうすれば未だ〱男子の就職戰線とは事情を異にしてゐるのですから百貨店に入れないで泣くといふやうな悲劇はなくなる筈です。

肉類を軟く煮るコツ

□…牛肉、鷄肉その他すべて肉類は短時間の間に調理する事が軟かくする祕訣です、すきやきの時には、醬油、味淋、割下を先に煮立てゝその中で肉をさつと煮ます、いつまでも長く時間をかけたり、冷い醬油や割下の中に初めつから入れて煮ると固くなつてしまひます

□…小間切でも時間をなるべく短くしたら決して固くないのです。火が通らない心配があつたら、餘熱を利用して蓋をして暫くそのまゝにして蒸しさへすれば十分に中まで煮えます、又小間切はカタクリ粉をまぶして煮ると軟かくなります

□…燒鳥をするにも、強い火で手早く燒くと軟かくやけますがこげるのを心配して遠火で長く時間をかけて燒いたりしてゐると、コチ〱になつて肉の味は臺なしになつてしまひます

海の外から

□史中人物の似顏カツラ ロスアンゼルスのＸ彫刻家は西洋史中の有名人物の蠟製似顏を多數作製した所之に目を付けた映畫會社は俳優用特製の頭部カツラを注文した。出來榮えは何れも本物そつくりなので、史劇撮影に一段の妙趣を添へることにならうと。

□飛行し乍ら無線電話 紐育、シカゴ及び東西の海岸地方では飛行し乍ら飛行場や航空港內の事務室內の職員と無線電信で話し合つてゐる。

□海底の石油層に鋼鐵櫓 米國加州の六大石油會社は近海の海底に橫はる石油層から石油を吸ひ上げる爲め、二千萬弗を投じて高さ三十八呎の鋼鐵製櫓を造つた

鮮魚小賣相場

品名	値段	品名	値段
活鯛	二四〇 九六〇	氷鯛	一五 一七〇
チヌ鯛	四五 三八	小タイ	六〇
マグロ	七〇 三五	ユベ	一六 一三
ブリ切	三〇 二五	ヒラス	三三 二六
サハラ	六六	サバ	一七 一四
カレイ	九	ヒラメ	一二 一一
ボラ	三一 二五	コチ	一二
ホーボー	二〇	キス	四五
タコ	一七 一三	イイタコ	二四
マナカツオ	三九 一五	イカ	四三 三三
オコゼ	二〇	小水イカ	二〇
ムツ	二六	イセエビ	一五 一一
サヨリ	六五 二六	クルマエビ	九一 七九
カナガシラ	五	コエビ	二一
カユ	六三 六〇	ハモ	三三
アナゴ	一三	貝柱	三九 三〇
赤ナマコ	二五	アワビ	八一 三五
シジミ	九	カマボコ	一六 一
チクワ	一〇	星カレイ	三〇 二六
カニ身	二〇 一〇		

野菜相場

新京市場小賣相場表 三月十七日「菜果之部」

種別	値段	種別	値段
白菜	八 四	蓬蓮草大連物	一一 一〇
サツマ芋	四 三	里芋	一〇 〇八
山芋	一〇 〇八	赤芋內地	一五
ツクネ芋內地	二〇 一五	牛蒡	〇五 〇四
蓮根	一六 一四	白大根「大連」	〇八 〇六
丸大根	〇六	赤大根	〇六
玉葱	〇八 〇九	人參	〇三 〇三
生姜	二〇 一二	ウド	三〇 二〇
ワサビ	五〇 六〇	內地葱	一〇 〇八
玉菜	〇五 〇四	カブラ大小	一〇
馬鈴薯	〇三 〇二	水菜同	〇八
ユリネ	五〇 二五	ミツ葉大小	二〇 〇五
セリ內地	一五	ワケギ內地	〇五
春菊大連	〇三	胡瓜內地	二五 〇二
林檎	一三 一〇	內地梨	一八 一五
天津梨	一五 一二	ミカン	一二
サブルー	四〇	西瓜	二〇

戀幻黒船往來

新興映畫上映及上演

(作) 寺島柾史　(畫) 赤施長斉

第四十一回

山葱探査 (三)

拍子抜したが、同時にまた、新なる好奇心にかられもした。

『こりや女、そこ動くな！』恐怖が變じて、いまは芝居氣たつぷり、木かげの女の身邊へ、のつそりと近寄つていつて、聲高にいつた。

アイヌ娘は、もう釘付けにされたやうに、榭の木肌に寄り添ふて一歩も踏み出さうとはせぬ。

『けつして身共は怪しい者ではないぞ』と、急に態度を和げて、いよ〳〵女に近寄つて容姿をみるとアツシの組衣に苧麻で編んだ帶をしめ、亜麻色がかつた髪を無造作に束ねてゐるが、和人好きのする眉目うるはしいピリカメノコだ。北方の長旅で接した多くのアイヌ娘のうちに、これほどの美女があつたらうか……と、一瞥で武七郎感じ入り、妙に引付けられてしまつた。

『こりや、女』

『はい』

かすかに、和人言葉で答へる。その瀬い唇その羞恥と恐れにふるえてゐる大きな沼のやうな瞳……

『人跡絶えたこの山間を、いま時分何用あつてさまよひあるくのぢや』

わざと、威嚴をみせて聲高に[illegible]をうたせた。

『はい、とうぞ、ゆるしてくたしやれ』

『いや、身共はけつしてお身を難ずるのではない。女一人この山路をさまよひ歩くのが危險とはおもはぬか、と、たづねるのぢや』

『いゝえ』

『ほう。……では、この山間に家を構へるアイヌの娘子か』

『いゝえ、當別濱から來たのです』

『して、いづれへ參る？』

『シリベシの小樽へゆきます』

『なに、小樽濱？……あの遠い未開の浦面へ、何しに參るのぢや』

『はい』

と、口ごもつたが、すぐに

『和人の、佐次郎しやまのところへゆきます』

『なに、佐次郎……とは、何者ぢや』

『……』女は、さすがに俯向いてしまつた。

『はへゝゝ、おみの戀男か。それな和人の若人ぢやのう。……こりや、女、そちの名は、なんと申す』

『はい、サンプト番屋のチブヌイと申します』

『チブヌイか……が、おみのやうな乙女のひとり旅は、何かと危險ぢや。引返すがよいぞ』

『でも佐次郎しやまの……』

『いや、わかつてをる。佐次郎といふ若人を、戀慕ふ、その心根のいぢらしさは、身共充分に理解してゐる、アイヌ娘の純情に、身共もはだされたことがある。が、和人にはそれほど眞實がないのだ』

『……』

『それより、サンプト番屋とやらへ立戻り、アイヌ仲間に戀人を求めたらよいぞ』

『……』

『さア、身共もな、これより箱館表へ參るのぢや、峠を越すまで道連れとなつて進ぜる』

武七郎は、女の手を執らうとした。

『とうぞ、和人、見遁してくたしやれや。わし、たいしようぶ、小樽まで、ゆきます』

『うむ、なか〳〵に志堅固ぢやのう。しからば勝手に參るがよい。が、その小樽の佐次郎とやらと、どうしておみは知り合つたのぢや』

『佐次郎しやまも當別濱にをりました。てうと三日前、小樽の方まで黒船を追ふてゆきました』

『なに、黒船？うむ、仔細ありげなその一言……こりや女、どうぢやな、路ばたへ出て、休息しながら、その佐次郎と黒船との因縁關係を身共に詳りきかしてくれぬかな』

もう、山葵探査どころではない

喜峰口で昨日午後二時間に亘る大激戰

猛然奮ひ立つた服部部隊に潮の引く如く敗退

(喜峯口十八日發國通)本日午後四時より戰鬪の火蓋を切つた、喜峯口前面の敵は猛然ふるい立つた服部部隊主力の猛擊を支へかね激戰二時間の後潮の引く如く敗退し灤河方面に向ひ潰走中であるが、我軍には損害なきも敵には多數の死傷者ある見込みである

(喜峰口十八日發國通至急報太田、宮澤特派員)喜峰口一帶は險惡なる空氣に包まれて居たが孤兒嶺、潘家口附近に陣地を構築しつつあつた敵軍は本十八日午後四時突如攻勢に出で關門附近の我陣地に向け一齊に猛砲擊を開始して來つた、我服部部隊は直ちに應戰、目下(午後五時)彼我大激戰中で砲聲殷々として山谷にこだまし物凄い光景展開しつつある

敗走せる敵は灤河方面に集結

(喜峰口十八日發國通)本日午後四時突如猛烈なる戰鬪を我に挑みながら僅かに二時間餘の交戰で陣地を放棄して敗走した敵は、前日頑强に抵抗せる敵とも思へぬ程鬪志を缺いで居るが、之は學良政權の動搖の反映ではないかと見られて居る

尚敗走中の敵は灤河以西に集結せんとする形勢にあるが、その行動は頗る注目されて居る

敵狀偵察の加藤少尉名譽の戰死

(喜峰口十八日發國通)千米の近距離を以て彼我對峙する喜峰口の一帶は、今や完全に戰場と化し、連日銃火を交換して居るが、この重苦しい戰場に於て昨十七日○○隊より粒撰りされた決死の加藤少尉を長とする○○名は逆襲の氣配を示しつつある喜峰口前面の敵狀偵察を命ぜられ、全員死を決して山谷を縫ひ出發したが、同日午後一時頃潘家口附近の谿谷に於て我に十數倍する敵の大部隊と遭遇し晝夜に亘り激戰を交へ加藤少尉は全身に五發の敵彈と、三ケ所の刀創を受けて名譽の戰死を遂げ戰場の華と散り、鬼神を泣かしむるものがある

熱河省貧窮民救濟費

二千萬元國務辦事處に現送

(錦州十八日發國通)熱河省の匪賊分子掃蕩一段落と共に愈々政治工作に移る事となり先づ二千萬元を以て省内の貧窮住民を救濟する事になり、近く承德及び赤峰の國務辦事處に現送される筈である

程國端軍

敗殘兵討伐に出動

(錦州十八日發國通)新立屯に駐屯中の滿洲國討熱作戰の程國瑞少將の指揮する部隊は熱河敗殘兵が通遼東南を通過○○方面に進攻の形勢を示しつつあるため、之を擊破すべく十七日午後二時急遽錦直ちに通遼方面に向け出動した

上村枝隊出動

(赤峰十八日發國通)赤峰の西方約三十里の地點に約一萬の敵あり、我が飛行機は之を爆擊し多大の損害を與へたが、その飛行機の報告により我が圍場上村枝隊は更に徹底的打擊を與ふべく出動準備中である

張總司令の進發を迎へ

赤峰○部隊長の祝宴

(赤峰十八日發國通)三月九日以來赤峰にありし討熱軍總司令張海鵬將軍が滿軍諸隊を率ゐて赤峰を出發し承德に前進することとなつたので、當地駐屯中の○○部隊長は、十七日張將軍を始め、索暫編第三枝隊長等を司令部の一室に招いて宴を張り、その前途を祝した

張作相が天津租界に亡命

(北平十八日發國通)三月三日湯玉麟について逸早く承德を放棄逃亡した廉で非難の聲高い張作相は、抗日前敵總司令の辭任の申出を何應欽に提出し直ちに天津外國租界に亡命した

探算上より見たる(一) 滿蒙牛の輸出事情

はしがき

日本内地に於ける牛肉の消費量は一箇年約六千八百萬斤であつて、之に對して日本國内産は四千三百萬斤に過ぎない。從つて年々約二千五百萬斤の牛肉が輸移入に依つて充されてゐる。その中八百萬斤は朝鮮より、又一千七百萬斤は山東、滿洲、濠洲及び加奈陀より輸移入せられてゐるのである。滿洲國より大連を經由して日本に行くものは二百五十萬斤(昭和六年)であるが、これが年々五割又はそれ以上の増加を示して居り、滿蒙牛も日本への輸出は近時大いにその將來を嘱目されるに至つた。

從つて將來滿洲國に於ける牧畜業の改良發達と相俟つて内地の不足牛の大部分を滿蒙牛に依つて充當し得る時代の來る事も想像に難くない

偶々滿鐵會社が昨年十月以來實行してゐる急行貨物列車の運行は滿蒙牛の輸出に對して一大エポツクを齎らしたのである

本稿は鐵嶺列車分區助役中田軍二郎氏の多年調査研究に成るものであるが、新京列車區長宮城興明氏の斡旋により特に常案内所の爲めに提供せられたもので、斯る貴重なる資料を本報告に發表し得た事を欣幸とする

第一、滿洲及蒙古牛に就て

一、牧牛の適地滿洲國

獨り牛のみならず此廣漠萬里の滿蒙の地は家畜放牧の良天地であつて、滿洲國人は此に家畜を愛し家畜を一家族とする樣な狀態を以て之を馴致して來たのであつて、其馴致の技倆に於ては誠に驚嘆に價するものがある。

此馴致の熟練は天惠の土地と其悠暢な國民性の賜であつて我國の如く狹隘な土地に放牧の自由を與へず、常に拘束繫留する爲め飼主に馴れぬものとは誠に雲泥の差がある。

例へば内地牛は動もすれば角を以て人に危害を加へんとするに反して滿蒙牛は其方法すら知らぬものの如く、如何に惡牛と雖も其角を握つて之を禦す事が出來、滿蒙牛が如何に溫順であるかは此一事を以て知ることが出來る、蒙古に於ては財産の多少は家畜の大小に依て之を律せらるゝ程であつて家畜を愛する事、日常途上の挨拶にも先づ家畜の安否を訊ねる程であり、獸醫も戸數二、三百戸に對して一戸の割合に存在すると云はれてゐる

二、滿蒙牛の頭數及種類

滿洲及蒙古牛の數は調査により區々であるが關東廳の認むるところでは、大體二一〇萬頭と稱せられてゐるが、其内から一七萬頭が南滿出廻數量と認められてゐる。

滿洲及蒙古に於ける牛は朝鮮、山東、滿洲、蒙古の四系統に分つことを得るが、前二者は何れも其數少く大しは滿洲蒙古の兩系統に屬するものである。

蒙古牛は蒙古及滿洲西部の平坦なる地方に又滿洲牛は滿洲の東部山嶽地方に産すると見るのが大體當つた見方であるが、更に滿鐵線を境界にして考へれば、奉天以北では西部は蒙古牛、東部及び奉天以南は滿洲牛と見て差支へないのである。

然して新京管内郭家店、四平街、雙廟子、昌圖、開原、鐵嶺等にて集せらるゝものは大體に於て蒙古牛であつて公主嶺、范家屯、新京のものは滿洲牛が大部分である

蒙古牛は數に於て多きこと滿洲牛の比ではないが體軀倭小の點は滿洲牛に劣る事甚だしい但し角は其反對を示してゐる

一支那軍逆宣傳に大童

(赤峰十八日國通宮崎特派員發)熱河省では各方面に四散せる學良軍及偽勇軍密偵等に依り盛んに逆宣傳が行はれてゐる、即ち「赤峰に於て日軍全滅」「下窪に於て張海鵬前敵總司令部全滅」「赤峰西方地區進出の日軍敗戰して赤峰に殺倒大混亂を呈す」等のトテツもない逆宣傳をなし、土民も亦通信機關なき爲一時はこれを誤信する向あり、此の際省民の人心安定の爲徹底的皇軍による治安維持の完璧を知らしめる要ありと現地當局でも頭をひねつてゐる

兵匪東寧を襲ひ 我が損害九名

(ハルビン十八日發國通)東寧は十日午前三時三俠の指揮する約一千の匪賊に攻撃され一時對峙の形となつたが、石田守備隊長の果敢な逆襲によつて敵は十三日午前潰滅した

我が損害は戰死五名、負傷四名で、尚ほ平賀增援隊は十四日午後東寧に到着し、東寧の治安は完全に維持される事となつた

聯盟脫退諮詢案

廿七日の本會議で決定發表

(東京十九日發國通)昨日の樞府委員會で可決せる聯盟脫退諮詢案は、議案の配付手續きのため廿七日樞府本會議に付議決定となつたが、政府では右可決を待ち、直ちに臨時閣議を開いて正式決定をなし、上奏の上聯盟に對し脫退を通告し、同時に聲明書を發表する

英新軍縮案の討議 松平大使が出席

(ジユネーヴ十七日發國通)英國提案の新軍縮條約案の一般討議は二十三日から開始の豫定だが、我が代表部では案の重大性に鑑み、松平大使が一般討議に出席する事になる模樣である

廿六日閉院式

(東京十九日發國通)第六十二議會も愈々來る廿五日を以て會期滿了となるので、政府は會期延長なき限り廿六日午前十一時より貴族院で閉院式擧行のことを奏請する事となつた

赤峰治安全く恢復・學生大會を開く

(赤峰十八日發國通)皇軍入城既に二週間民心も漸く安定し來り、避難者は續々歸來皇軍の保護下に入りつつある

(赤峰十八日發國通)○○宣撫班は連日土民懷柔に努力してゐるが、二十一日は敬老會を開催、更に廿四日頃當地學生大會を開催する

赤峰政治工作班の活動

(赤峰十八日國通)宮崎特派員發赤峰特務機關政治工作班及○○軍宣撫班では協力して赤峰縣公署を指導各民治方面の活躍を開始し十七日には第一回教職員の座談會を開き教育方針の根本問題につき研究したが、當分復興の暫定教育として本義に基き教科書なしで臨機の教育指導を爲す筈であると

學良の歡迎 これが支那を誤らす

上海から來た外字記者談

上海より當地に來着した某外國新聞記者の談によれば、東三省を放棄し熱河問題で失敗し北京の寶物を賣拂つて私腹を肥し各方面よりの非難の傷居たたまらず愴惶として下野上海に來た張學良に對し、上海の民衆は非常な歡迎ぶりで連日連夜の招待をしてゐる、どうも支那は政府の意圖と民衆の動向とは常に一致せず、これが支那をして常にあやまらしてゐるのではないかと沁みぐ語つた

宋子文 汪精衞と要談

(上海十八日發國通)國民政府及び中央黨部に辭表[illegible]した宋子文は、本朝汪精衞を訪問種々意見を交換した後、自分は行政院長代理の職を辭する事にしたので、一日も早く南京に赴き行政院長の職につかれ此の國難を解決されたいと切望する處あつたに對し汪精衞は自分は未だ病氣が充分全快せぬため今暫らく行政院長代理の職を繼續される樣要請、約一時間に亘り懇談したが結局要領を得ず本日の會見を終つた

汪精衞、孫科と會談後語る

(上海十八日發國通)宋子文と會談を終つた、汪精衞は午前十時孫科を訪問約一時間に亘り時局に對する意見の交換を行つたが、汪は記者に對し次の如く語つた

自分は病氣が未だ充分恢復せず、當分行政院長の職を遂行する事が出來ないから宋子文に行政院長代理を繼續する樣頼んだ、然し自らは明晩か明後日南京に行く考だ、蔣介石からは南京に歸る樣に言つて來て居るので自分は保定まで行く必要はあるまいと思つて居る

密山の兵匪擊退 滿洲國軍

(ハルビン十八日發國通)密山は九日夜半陳東山(朝鮮共産黨員)の指揮する約二千五百名の包圍攻擊をうけたが、同地駐在の吉林軍買團は頑强に應戰、十日拂曉に至り擊退した

十八日錦州に護送の筈 寬城附近に不時着の○機

(錦州十八日發國通)喜峰口爆擊より歸還の途寬城附近に於て不時着した土橋特務曹長操縱、今西少佐以下搭乘の○○機は本日搭乘者と共に錦州に護送する筈である

東京支那留學生 日本共産黨と聯絡 抗日運動に狂奔

一網打盡に檢擧さる

(東京十九日發國通)警視廳外事課では在京支那留學生が日本共産黨と聯絡し、抗日運動に狂奔して居るを「探知」し、十六日早朝神田區中華キリスト青年會館を襲ひ同館内の中華民國各界救濟國內難民聯合會の首腦部、東京醫專生徒王某等十七名を檢擧し取調べて居るが、彼等一味は十二月頃から揚子江水害罹災者救濟を名として右聯合會を組織し、集めた金は張學良系偽勇軍や、十九路軍に送つて居たものだ、右王某等は在上海の中國共産黨フラクションたる中國社會科學研究會指導の下に日本分會のメンバーとして暗躍し、日本共産黨やプロ文化團体と

=聯絡= を取りて擴大強化し、會員數は七八百を集めた、資金は四百圓余で、二月中旬密使を上海に派し偽勇軍に軍費を手交した事が判明した

救出の効なく 石本權四郎氏の屍體

遂に朝陽に發見さる

(朝陽十八日發國通)匪賊李海峰軍に拉致されて以來半歲あらゆる救出策も效を奏せず氣遣はれてゐた石本權四郎氏は昨年十二月十一日前後李海峰匪が根據としてゐた虻月營子部落より更に奥地方面に運び去られたことが、今回の熱河進攻により判明したのみで其の後の消息不明であつたが最近我軍では石本氏が朝陽附近に於て慘殺された確證を握り、これに力を得て朝陽城內外亘つて極力搜查中、十八日朝に至り朝陽城外東方一里二族營子に埋沒屍體あるを發見石本氏に酷似してゐるので、目下朝陽に滯在し愛弟搜查中の令兄石本太郎氏立會で檢屍の結果、石本權四郎氏に相違なきことを確認、我が警備隊に收容した十九日火葬に附し遺骨は實兄太郎氏が携へて歸奉の筈

覺悟の夫人語る

志士石本權四郎氏拉致されて以來、氏の無事を祈りつつ奉天松島町十九番地の留守宅を守つてゐたかつ子夫人に石本氏の不幸を齎らせば、取亂した樣子もなく語つた

今朝八時四十分頃朝陽の兄から屍體發見といふ電報があつただけで何にも詳報がありませんので、何だか本當とは思はれませんが、かうなることは覺悟してゐました、然し生きてゐる樣な氣がしてなりません、十五日まで確かに權四郎は生きてゐる、朝陽の東方一里、部落に監禁されてゐると兄から通信がありましたが、三日を經ぬ今日屍體が發見されたとは信じられません何れ軍の方から詳報があると思ひますが、明朝八時十五分の汽車で錦州に參ります、主人は表面に立つて仕事をするのが嫌ひでした、日頃ハルビンで殉職された沖さんや、横川さんの事を口癖のやうに申してゐましたが、主人もとうとうこんなことになつてしまひました、十九年前僧侶に身を扮して熱河に潜入し、種々調査して來たことがありますが、熱河のどの山はどうだ、あの川は深さがどの位だ、と熱河や蒙古の話をよくして吳れたものです、云々

陸軍定期異動

(東京十八日發國通)陸軍定期異動は本日發表されたが、大中將級は

補軍事參議官 中將 松井石根
補東京警備司令官 中將 林仙之
補第十九師團長 中將 牛島貞雄
補第十二師團長 中將 大谷一男
補第一師團長 中將 森連
補第十六師團長 中將 蒲穆
補第十一師團長 中將 原田敬一

右の通りで、その他では

陸軍少將 淺田禮三
同 筒井正雄
同 古莊幹郎
同 稻垣孝照
同 島永太郎
同 清水喜重
同 香月清司
同 飯田恒次郎
同 市瀬源助
任中將(各通)
陸軍軍醫監 伊藤賢一
任軍醫總監

軍事參議官井上大將、同鈴木大將、東京警備木原司令官、十六師團長山本中將、十九師團長森中將、十一師團長厚東中將、二師團司令官安田中將、島永太郎中將、飯田恒次郎中將、市瀬激助中將 待命被仰付(各通)

判事異動

(東京十八日發國通)大審院部長判事西川一男氏は十九日を以て停年退職となるので、その後任補充に伴ひ左の異動を行ふに決定、發令は議會終了後の豫定である

大審院部長 判事 西川一男
停年退職
札幌控訴院長 判事 清水孝藏
補大審院部長
民事局長 長島毅
任判事
補札幌控訴院長
大審院判事 大森洪太
任民事局長

人事往來

▲長尾吉五郎氏(民政部警務司長)十八日午後三時三十五分歸京
▲葆康民政部次長同上
▲吳元敏氏(吉林省警備司令部參謀長陸軍少將)十八日午後三時三十五分來京同四時三十分吉林へ
▲關朝璽氏(中央銀行監事)十八、午後四時三十分奉天へ
▲黃昭誠中將(護國軍第三軍々長)十八日午後七時五十分歸京
▲佐々木大佐(軍政部顧問)同上
▲財部警視(朝鮮滿洲警察署長)十九日午前八時來京
▲熊崎警視(朝鮮平安北道警察部保安課長)同上
▲夏子明中將(護國軍第一軍長)同上
▲陳子珍上校(護國軍第三軍副官長)同上
▲永井駐滿大使十九日午後七時五十分來京の豫定
▲十河理事(滿鐵)十九日午前九時大連へ
▲青木新京鐵道事務所長十九日午後十二時五十六分歸京の豫定
▲山内敵二氏(滿鐵新京地方係長)十八日午後七時五十分家族同伴着任

殉職警官の弔慰金募集

去る六日國都新京警備の尊い犧牲となられた(ロ)高、李兩刑事の英靈を弔し且つ遺族を慰藉する爲め左記に依り弔慰金募集を致しますから市民各位の厚き御同情を御願ひ致します

記

一、金額 制限なし
一、申込 地方事務所庶務係又は各區長へ御申込下さい
一、締切 三月二十五日限り
一、其他 領收證を發行せず、但し新京日日報並新京日日新聞に御芳名を掲載して領收證に代へます

三月十四日

發起團体 地方事務所 商工會議所 地方委員會 各區長 居留民會

後援 新京日日新聞社 新京日報社

抗日ポスター 大連で發見す
馬占山、蔡廷楷を英雄偉人に 天津から密かに輸入

滿洲國人の抗日氣分を煽動するため最近巧に上海、天津方面から抗日ポスターを密賣してゐるとの風評あり、各署高等係で內偵中十七日午後三時ごろ沙河口派出所宮崎巡査が管內を巡邏してゐると市內東山町四番地理髮店文明堂こと李永財方で壁に掲げられポスターをかこんで多數の滿洲國人が騷いでゐるので近寄つて見ると「中國抗日英雄馬占山」「我國唯一の抗日偉人蔡廷楷」と大書して兩人の馬上姿のポスターが貼附しあり、更にその橫には「中國十九路軍淞滬抗日血戰」と題し日本の飛行機墜落の圖植田〇〇長負傷の場面等が過激な抗日宣傳の文句入りで支那一流の出鱈目を以つて色刷りとなつてゐるものが掲げられてあつたので直に右ポスターを押收し店主を引致取調べた結果、同家の店員李某が舊正月小崗子管內で買求めたもので、他に多數抗日ポスターを密賣してゐる旨を申立てたので日下小崗子署に手配し密賣犯人を嚴探中なほ該ポスターは天津河北西廣開富華印刷局及び天津西窰洼德隆印刷所の兩所で發行されたもので大連にも相當密賣人が入り込んでゐる模樣である（大連）

教育改善の實施方案協議
中等教育委員會で

既報、去る二月七日大連で開催の滿洲各學校長會議に於て滿洲邦人の教育改善、向上をはかるを目的とし臨時教育調査委員會なるものを組織したが、この第一回の委員會を來る廿四、五の兩日に亘つて大連滿鐵社員俱樂部で開催する事となつた、新京からは東商業學校長、江部女學校長及上原室町小學校長の三氏が出席の筈である、なほ當日の諸問案は左記の通りで

滿洲現狀に鑑み邦人教育上改善を要する事項並之に對する實施方案如何

で更に左の如き各部分に亘つて根本的な審議をも行ふ

一、制度法規に關する事項
二、教科課程に關する事項
三、教育內容に關する事項
四、教職員に關する事項
五、其他必要なる事項

日滿密約締結さると
廣東の諸新聞騷ぐ

當地着電＝廣東方面の諸紙は十七日南京電報として「日滿密約を見よ」との題で左の記事を掲載してゐる

某方面から國防委員會に入つた情報によれば所謂日滿密約の內容とは溥儀氏を帝位に即かしめ、支那に聯邦制帝國を創設し、以て中日攻守同盟を締結し、ソヴエート聯邦の赤化運動の防止を圖り、同時に國民黨の勢力を驅逐する、憲法は發布され、領事裁判權を取消し、內地雜居を許可し、信教の自由を公認す、巨額の公債を發行し經濟建設に資す、尙ほ密約中には支那に於ける日本軍の軍事行動を詳細に協定してゐる、熱河攻略の第二段の策として中華聯邦帝國建設の根據地とする爲め平津を陷れるとの概要が發表されてゐる

滿洲人の好む色と文字（五）

五、圖案、意匠

滿洲民族の好む意匠圖案中代表的なもの擧げて參考とする。

△五彩古裝、戲人
之は彩色を施した支那舊戲人物の意匠である、例へば三國誌劇の中要人物である劉備、曹操、孫權、關羽、張飛、諸葛孔明、周瑜、呂布の諸武將に孫夫人、大喬、少喬等の大人を配したものが多い
其の他賢人の圖であるとか漢代に於ては項羽、王莽等を背景とせるものが多い樣である近項は又名優の舞台顏も流行して居る。

△名勝舊跡
名勝舊跡の特に現はれたるものも歡迎せれる

▲五彩時裝美女
之は彩色を施した現代美人の意匠であつて例へば紅樓夢中の寶玉及黛玉、寶劍或は梅蘭芳の諸劇、西廂記の鶯鶯金由梅、花月痕等其他最近のものとしては時裝及洋裝の支那美人の郊外散步の圖等が喜ばれてゐる

▲五彩寶塔並石門寺橋梁
彩色を施した支那寶塔で最も普通なものは上海近郊、龍華の塔、蘇州の虎邱其他萬里の長城、黃鶴樓、哈德門寺等である。

元來總ての見樣に依つて質と量と線と色彩とから成り立つて居る
而して此の四つが能く配合しない商品はその商品としての價値が薄くなるので此の四つの配合には多くの人が最も苦心するのであるけれども此の關係は非常に複雜なものであつて簡單に此の關係を言ひ盡す事は困難である

六、文章と繪畫との配列

滿洲國農村社會の教育の普及により近年著しく文字を解讀し得る者の數を增加して來たが、尙ほ他に比較して文字文章を解讀し得ぬ者の數が著しく多い、而も之を地域的に見るに南滿地方は餘程文字を解して居るが、北滿及內蒙古に至つては非常に文盲の者の多きを感ぜられる、南滿地方に於ても滿鐵沿線を中心としては教育程度が相當高いが、東邊道及び熱河省附近に於ては尙ほ北滿と異ならないものがある

茲に宣傳に從事する者としては、此の實狀を究めて文字による宣傳を考慮せなければ勞して効なき失敗に陷る事がある、即ち比較的教育の發達した地方には文章宣傳を以て効を奏するが、然らざる北滿地方及び南滿僻地に於ては文章宣傳に代ふるに繪畫宣傳を最も効果的とする、この兩者を尙ほ一層巧妙に利用して効果的ならしむる爲め從來協和會宣傳班では、彩色畫と文章とを巧妙に混合して全階級に對し、この一枚の宣傳ビラを以て通じ得る樣にも作成した事が、あつたが各方面から非常に歡迎を受けた。

寫眞は一般に非常に歡迎され頗る興味を以て見られるので、繪畫に代ふるに寫眞を以てする事は相當に宣傳價值を增すものと信ぜられる、寫眞と繪畫とを取り混ぜたもの即ち、人物或は風景等の一部を寫眞とし他の部を繪畫で補ふ等は一層効果的である。

熱河入りには誰も彼も生命保險
總額八十萬圓に達す

今回の熱河掃討に伴ひ關東軍の宣撫班、滿洲國側の政治工作員、中央銀行員を初め企業家商人、僧侶等多數の熱河入りを見たが、之等の者は殆ど全部生命保險をかけ從つて生命保險業者としては一番閑散期である二月、三月の兩月非常な盛況を呈した。金額は五千圓程度の者が大部分を占め保險料の廉い終身保險が多い某保險業者の談によれば熱河入りの人のかけた保險契約高は全滿では八十萬圓を下らず新京のみでも三十萬圓以上であるとの事である

賭博に敗けた腹いせに
強盜虛僞の訴へ

十九日午前零時三十分頃市西三馬路無職滿人邱氏が只今入船町四丁目で朝鮮人強盜に襲はれ所持金五十四圓を強奪されたと新京署に屆出た、同署では、非常召集とゝもに刑事隊を現場に急行し搜查の結果被害者の申出による、犯人は同町に居住してゐる、朝鮮人李と判明し、引致取調ると李は、そんことを知らず同署では不審を抱き被害者邱を嚴重取調ると強奪に襲はれたとは眞赤な僞で實は李と賭博開帳をなした際散々敗かされたことがあり、その腹いせに屆けたものである

山東出稼ぎ苦力前途
悲觀を要しない

（撫順十八日發國通）撫順炭坑より山東に出稼ぎ苦力の狀態調査のため派遣され最近歸任した派遣員は語る

山東省は全体的に非常に平穩であるが、それは左の理由によるものと思はれる

一、韓復渠省長自己の地位を保持するため排日的策動を一切極度に彈壓して居る事
二、從つて一般民衆の日本に對する態度が緩和し、國民黨の活動が殆んど封じられて居る事
三、上海事件滿洲事件乃至は天津地方の動搖によつて青島への輸出入貨物も增加し、膠濟鐵道の輸送增加等は山東省全体を經濟的に富ましめて居る。若し山東が擾亂化する時はその利益が停止する懸念がある事
四、一般民衆や官邊が恐日病に罹つて居る事

等がその主なる原因で、日本に對しては寧ろ好感を持つて居ると稱する事が出來やう、而して工人の省外異動に就ても亦決して悲觀すべき狀態でない、これに關しては國民黨が上海、山東沿岸の各主要港に僑務局なるものを設け表面は海外移民を奬勵して居るが、內面的には滿洲出稼ぎを取締り、且つ種々の逆宣傳をなして移住出稼ぎを阻止して居る。之が苦力募集に支障を來すものであるが、青島、芝罘よりの滿洲國への移民は每船滿員の狀態である

僑務局の主なる事務は

一、海外渡航者奬勵の取締り
一、海外移住に關する問合せ應答及指導

等であるが、これが山東省の不況の一國である、併し出稼工人による送金と、不況に際しての持參金等の事象は、工人の出稼ぎ移住に對する彈壓を不可能ならしめるから滿洲國の平和王道善政を傳へ聞いて工人等はあこがれつゝ出稼ぎを急いで居るので、この點頗る力強く思はれる、尙山東に於ける炭山地帶には一時殆ど邦人の居住を許さない程の排日があつたが、最近前記の樣な理由で頗る平穩であり、黨部も解散し作業は圓滿に進展してゐる、尙每日廿一車四千噸の出炭を見て居るが、之は膠濟線の利益と海外及山東省內で消費されて居る

小國民達が傷病兵を慰問
奉天各小中學校で

（奉天十七日發國通）滿洲國の建設に日夜寧日なく反滿軍匪賊討伐の第一線に奮闘し、尊き犧牲として後送されたる日滿兩軍の幾多傷病兵を慰さめて日滿融和の實を擧ぐべく省城小中學校三十一校にては協議を重ねたる結果慰問團を組織するに決し、各校より代表者二名を選拔し、生徒の圖畫作品及生徒の醵金により購入せる慰問品を携へ、來る三月二十日より一週間に亘り、左記日程により奉天衛戍病院及警備司令部緒方病院に傷病兵を慰問することとなつた

二十日第一團（第一初中外六校）△二十一日第二團（女子師範外二校）△二十二日第三團（省立第一小學校外二校）△二十三日第四團（省立第四小學校外四校）△二十四日第五團（省立第三小學校外四校）△二十五日第六團（省立第五小學校外四校）

思出話に話咲く
昨夜の草分け座談會 成功を納めて終る

滿鐵地方事務所主催の草分け座談會は豫定通り十八日午前五時同事務所內に集合一同夕食を共にしての

＝定刻＝

に入つたが出席者は神崎仙英、鳥名福十郎、下德直助、穴澤喜壯次、上田賢象、三宅濱治、山下德龍、宇野常吉、佐藤精一、出島定一、四戶友太郎の諸氏で、荒木所長急用のため野村社會主事が代つて挨拶を述べ直に座談に入つたところ孟家屯時代から長春草分けに入り今日に至るまで實に過去二十七年に亘る思出話が次から次へ、各人各樣の

＝立場＝

から述べられて果てしなく、最後に滿洲國の成立によつて今や首都新京の建設時代にいつたが吾等は過去二十七年に亘る尊き体驗を基礎とし、また參考として將來とも大いに奮闘して見やうと一同期せずして堅き契りを結び、いつの間にか時も過ぎて同十一時すぎ漸く此の有意義な催しは極めて多大の効果をおさめて散會した

＝入學式＝

新京商業學校では本年の新入學生の入學式を來月十日午前九時から同校々堂で行ふがなほ高等女學校は八日午前八時半から同校講堂で同じく擧行の筈である

日滿アルミニユーム會社近く創設されん
鈴木、田中兩博士發見

（東京十八日發國通）航空機食器等の材料として利用價値の多い輕金屬アルミニユームは從來日本では製造されず、每年殆ど凡てを外國に抑ぎ、每年一千萬圓を輸入してゐる仕末なので、之を遺憾として理化學研究所の鈴木庸生博士、田中寬博士等は十年に亘る苦心研究の結果、滿洲、朝鮮の特產物たるバンドベイ岩から獨特の作用でアルミニユームを製出する方法を發見近く日滿兩國提携の下に一大アルミニユーム會社を組織、大々的にアルミニユームを製造することとなつた

砂漠地帶の凍傷患者の情況

關東軍當局談＝今次熱河攻略に參加した皇軍中特に北方砂漠不毛の地に於て作戰した兵團は不幸凍傷患者を出したが今其情況を說明すれば左の如くである

各隊では「覆面、防寒手套及同靴下等季節相應の防寒裝備を整へたが疾風迅雷的行動を大目的とする爲一日十數里の強行軍を實施せねばならないから重い全防寒被服を着用することは出來なかつた、又日沒後適々到著せる村落は既に敵の掠奪破壞の爲に廢墟に歸して宿營の設備なく戰友相擁して僅かに假眠を執り天明を待たずして再び行動を起し其間殆んど凍傷豫防若くは手當の暇も無いと云ふ有樣で加ふるに本年の氣溫は永年の統計に反して日々激變し第一日の如きは終日吹雪に暮れて寒暖計は零下四十五度に下降した、此の情況を見た軍司令部では直に防寒具を空輸して應急の處置を講じたが不幸約五百名（內程度重きもの約百五十名）の凍傷患者を生じたのは眞に遺憾に堪へない、衛生部も亦飛行機を使用して患者を後送し其大部は目下在滿衛戍病院に收容し一部は既に內地に還送したが何れも經過良好なるもの多く今後も引き續き萬全の手當を施すことになつて居る、以上の外南熱河方面に於ても二日に亘り飲まず食はず徹夜して敵と激戰を繼續したる爲防寒具を着用しながら輕き凍傷に罹りたる者數十名を生じたるは勇敢に任務を遂行したる結果であつて誠に悲壯の極と云はねばならない

內地商品の盛大な見本市
大連と奉天で開催

日滿貿易の振興をはかるため今夏七月、大連で開催される商品見本市は從來滿洲に於て一ケ所と限られてゐたが今年は新國家成立し內地商品に對する一般の關心も異狀に高まつて來たので此際大連以外に今一ケ所で同樣見本市を開くことを滿洲側でも要望して目下當局では係員を內地に特派して頻りに運動中だが新京では現在適當な場所なきため大体奉天に於て開催されることになる見込みである

武藤夜舟大尉軍事繪畫に半生を捧ぐ

（東京十八日發國通）滿洲事變や上海事變を描いて知られる武藤夜舟大尉は今回少佐に進級を機會として勇退となつたが、今後は軍事關係の繪畫研究に半生を捧げることとなつた

吉野作造博士逝去

（鎌倉十九日發國通）病篤に陷つて居た法學博士吉野作造氏は十八日午後九時半湘南逗子の自邸で逝去した、享年五十六歲

吉野博士の略歷

（鎌倉十九日發國通）鎌倉サナトリウームに加療中逝去した吉野博士は、明治三十九年支那に渡り、北洋督練所翻譯官兼法制科講師となつたこともある、支那通であり、デモクラシイ運動の思想家として活動してゐたが、晚年は明治文化史の研究に貢獻した

ラジオ

二十日（月）
奉天後五、〇〇レコード錢行金銀相場商業信社
新京後五、二〇演藝
新京後五、四〇講演
東京後六、〇〇ニユース東京中央放送局編輯
新京後六、二〇時事解說（滿洲語）氣象豫報及滿洲語ニユース
新京後七、三〇ニユース（英語）
新京後七、四五ニユース（露西亞語）
新京後八、〇〇ニユース（朝鮮語）
新京後八、一五ニユース氣象豫報、放送局編輯及プログラム豫告
東京後八、三〇時報
東京後八、三一ニユース東京中央放送局編輯

幕末異聞

愛慾火箭（九）

作　瀧川駿
畫　村瀬洗舟

仇討願ひ（五）

深く夕闇が庭一杯に、立ち罩めてゐる採左衛門の役宅の離れ座敷の縁先に突立つた曲者は、斯う言つて■■衛と笑つた。
『採左衛門殿御ら願ふ』
それに現はれたのは、生血の付いた四本の足であつた。
蒼白になつた、採左衛門は、唯その場に打顫へてゐた。
曲者は悠々と、夜霧の中へ消えて行つた。
これと同時刻頃、いづこの者とも得体の知れない、揃ひの絆天を着■■助人足が擔ぎ込んだ長持一
それは大附御■■■部の役宅の玄関先であつた。
『御免下さい』
斯う丁寧に、案内を通した。
取次に出たのは、御用人の金子喜三郎と言ふ若者だつた。
『さるお方からお祝ひの印までに、これなる粗品を持つて上りました。何卒御受納下さい』
『暫くそれにて、御待下さい』
斯う言つて引つ込んだ。喜三郎が二度目に、玄関先に現はれた時には、謎の長持が一棹、背筋の中に据られてゐて、人足はじめ小者の人影は見えなかつた。
『おや』
金子喜三郎の驚いたのも、無理ではなかつた。時々長持の■く音がして、何處からか、不気味な人の呻き聲が聞えた。
『旦那様、旦那様』
喜三郎は、奥に向つて叫びかけた。
『静かにしやれ』
手燭を持つた望月刑部が白綸子の寝衣姿にて其場へ現れた。
『この品に御座います』
『何、この品が祝ひの品だと申すのか』
刑部は、駒下駄を突掛けて、手燭を持つた儘長持に近寄つた。錠を外すと静かに、蓋を開いたが、さつと顔色が變つた。手燭を■■すと、長持を背にして、喜三郎に怒鳴つた。
『早く此の品を庭先へ運べ』
斯う言ひ捨てると、刑部は荒々しく足音を立てゝ奥へ這入つて行つた。
奥座敷に引き出された、九死の■ある二人。
それは、採左衛門の女婿三田隼人に、刑部の倅望月六郎であつた。
餘りの事に刑部は、涙も出ず暫らく呆然として、二人の■を見詰めてゐた。
それは膝から下を斬り落された、木偶にも等しい二人の有様だつた。
その内にも隼人は、微な餘命があるのか時々痙攣してゐた。
この奇怪極まる贈り物、そしてその贈り主は？
それさへも解らなかつた。
襖越しに、御用人の喜三郎の口上がした。
『多賀様のお越にございます』
『次の部屋へ通して置け』
奥の床の間に並べられた二つの死體。
しめやかに、線香の煙が白く立ち昇つてゐた。
奥方も、娘も、家来一統も無論知らない筈だつた。
蒼白になつた刑部の面には、血の氣といふものは、全くなかつた。
『お待たせ申した』
襖の奥の炭が、真赤におこつてゐた。白布に包んだ一個の包みを傍に置いて、採左衛門は頭垂れて坐つてゐた。
『して、採左衛門殿夜中お来しの御用向きは？』
出来るだけ、落付を見せてゐるのだが、でも何處かに落付のない素振がありありと見えた。
『實は、突然お伺ひ申しましたのは、明日は特に吉日に付き、お千と市太夫を仇討に旅立ち致させたいと存じ申しまして』
『それは結構なる御事。刑部お祝ひ申し上げます』

三月二十日　舊二月廿五日　月曜　乙酉　友引　破　危宿

● 一白の人　利に焦れば甘き汁は却て人に吸はれ易き日　辛さ癸さ丑が吉
● 二黒の人　一克を通さんとすれば却て進路塞がるべし　乙さ丙さ丁が吉
● 三碧の人　我より好意を以てせば人皆附随し來るべし　庚さ癸さ寅が吉
● 四緑の人　謙譲の徳現れて引立てに逢ひ立身出世の日　庚さ壬さ寅が吉
● 五黄の人　昂奮すれば甚ほど不利に陥り易き日注意　乙さ丁さ戌が吉
● 六白の人　慈善は人の爲ならず自ら後日に報らるべし　丁さ未さ亥が吉
● 七赤の人　盛運の日なれども病には弱し飲食物に注意　丙さ未さ戌が吉
● 八白の人　多事多用の日能く人事は成るべく避くべし　申さ丁さ亥が吉
● 九紫の人　和順を基さし操急ならざるが無事企業は凶　甲さ丙さ戌が吉